

コード	103020110
記入日	H21.6.8

事務事業途中評価表

課コード	118
課名	土木課
課長名	石司貴英
担当者	青崎真樹

作成年度	平成 21 年度
------	----------

評価対象事業名称	町道鯛ノ浦阿瀬津21-1号線改良事業
----------	--------------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 20 年度 ~ 平成 23 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	1	政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進	款コード	8
施策コード	103	施策名称	しまを支える交通基盤づくり	項コード	2
基本事業コード	10302	基本事業名称	安全で快適な道路整備	目コード	3
事務事業コード	1030201	事務事業名称	単独事業費(道路)	細目コード	418
関連計画	新上五島町振興計画		法令・条例規則等	道路法	

計画(PLAN) ※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象: 誰、何を対象にしているのか		対象指標: 対象の大きさを表す指標			
(対象1) 新上五島町が管理する道路の利用者 (対象2)		(対象指標1) 地区住民の数 17人 (対象指標2)			
事業の概要: 具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標: 事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)			
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠) (目標達成年度)
改良延長L=1,100.0m 幅員W=4.0m 全体事業費C=22,800千円 舗装工A=5,500㎡ 排水工L=300m 擁壁工L=200m	改良延長L=250m 幅員W=4.0m 事業費C=3,917千円 舗装工A=236㎡ 排水工L=60m 擁壁工L=40m	改良延長	62 m	6 %	改良延長÷計画延長 平成23年度 平成20年度
		改良延長	62 m	100 %	
		① (達成率分析)	計画どおり達成できた。		
		② (達成率分析)			
目的: 何をしたいのか		成果指標: 目的の達成度を表す指標・達成率 (上段: 全体、下段: 評価年度)			
本路線は、大瀬良地区と広ノ谷地区を結ぶ道路であるが、幅員が狭小で、急勾配、急カーブも多く見通しも悪く障害となっている。このため、道路を改良し、住民の交通の安全確保及び生活環境の改善と福祉の向上を図る。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠) (目標達成年度)
		進捗率	3,917 千円	17 %	事業費÷全体事業費 平成23年度 平成20年度
		① 進捗率	3,917 千円	100 %	
		② (達成率分析)	事業は計画どおり進んでいる。		
		③ (達成率分析)			

実施(DO) ※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		平成19年度以前	平成20年度		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	
活動指標	① m	1,100	62		250	62	250	250	538		
	②										
成果指標	① %	100	17		25	17	50	75	100		
	②										
総事業費C(A+B)	千円	25,600	4,617		6,400	4,617	6,400	6,400	6,400		
直接事業費A	千円	22,800	3,917		5,700	3,917	5,700	5,700	5,700		
人件費B	千円	2,800	700		700	700	700	700	700		
内訳	従事職員数	人	0.4	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1		
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円									
	県補助金	千円									
	起債	千円	21,600	3,700		5,400	3,700	5,400	5,400	5,400	
	その他	千円									
一般財源	千円	4,000	917		1,000	917	1,000	1,000	1,000		

コード 103020110

評価(CHECK) ※理由の欄は必ず記載すること。

妥当性	町が税金を投入して行う必要がありますか。	● ある ● ない	理由	道路管理者である町が行うべきものである。
	時代情勢や環境の変化などを考慮しても、事業を行う必要がありますか。	● ある ● ない	理由	道路の安全性・利便性については、普遍的なものであり町が行う必要がある。
	事業の対象・目的は適切ですか。	● 適切 ● 不適切	理由	住民生活の利便性を向上させるための事業であり適切である。
有効性	現在の事業の進め方が期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	事業の途中であるが、計画どおり事業は推進されている。
	成果を向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	ほぼ計画どおり進んでいるため特別向上させる必要はない。
	事業を行わない場合の影響はありますか。	● ある ● ない	理由	道路の安全性及び利便性の確保ができない。
	類似事業との整理統合はできませんか。	● できる ● できない	理由	単一の事業であり、他の事業との整理統合はできない。
効率性	直接事業費を削減することはできませんか。	● できる ● できない	理由	最小の経費で最大の効果をあげる設計となっており削減できない。
	人件費を削減することはできませんか。	● できる ● できない	理由	現在の人員を削減することは事業推進上できない。
	受益者負担は適正ですか。	● はい ● いいえ	理由	道路管理者が行うべきもので受益者負担は発生しない。

改善(ACTION)

改善策	1次評価	妥当性	現在のところ計画を見直す必要はない。
		有効性	住民の利便性及び道路の安全性を向上させるための事業であり、有効である
		効率性	最小の経費で最大の効果をあげる設計となっており、今のところ経費を削減することはできない。
	2次評価	妥当性	1次評価のとおり
		有効性	住民生活の安全・安心の確保と生活環境の整備、利便性の向上のため、計画どおり事業を実施すること。
		効率性	事業の経費の執行については、適正に行うこと。

住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	1次	2次	3次	このまま事業を継続	1次	2次	3次	類似事業と整理統合		
	●	●								
					事業内容を見直して事業を継続					事業の休止
					事業費を見直して事業を継続					事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。